



▲ 第26回やんばる駅伝競走 与論島大会
(詳細は11ページへ)



C O N T E N T S

- ・平成28年度 施政方針：P.2～P.3
- ・新規採用職員紹介：P.4～P.5
- ・地域おこし協力隊紹介：P.6
- ・まちの話題：P.7～P.8
- ・お知らせ：P.9～P.11

平成28年度 施政方針



与論町長 山 元宗

はじめに

昨年9月の町長選挙において、多くの町民から力強いご支持を賜り、町長に就任して以降約半年近くが経過しようとしております。この短い期間の中で様々な行政課題に直面し、私に課せられた役割と責務の重大さに、改めて身の引き締まる思いがするとともに、決意を新たにしているところでございます。

私の目指す「町民の英知を結集豊かで住みよいゆんぬ創生」の実現に向けて、平成28年度も職員と一丸となり、町政運営を積極的に推進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

平成28年度においては、全国的

に地方版総合戦略に基づいた地方創生の諸施策事業の展開が加速化し、各市町村の地域特性を生かした創意工夫による事業が本格的に推進されることとなります。

本町においては、平成27年4月30日に与論町総合戦略推進本部を立ち上げ、各種推進委員会のもとで昨年10月に「与論町総合戦略」や「与論町人口ビジョン」を策定しました。

総合戦略の5年間の基本目標として、特に若者をターゲットとした島内外の活発な交流人口の拡大、安心して暮らせる多様な居住環境の創出、協働による生きがいづくりなどを重点化した施策を推進していくこととしております。

近年、奄美群島振興交付金による奄美群島航空・航路運賃軽減事業の効果やSNSなどの情報発信が拡大し、減少傾向が続いていた旅行者の入込客数も増加に転じ、観光産業においては、明るい兆しが見えはじめています。

このような本町の現状を好機と捉え、映像等を活用したメディア戦略による島の情報発信や宿泊施設のリニューアル事業、空き家情報活用による住宅の確保、ス

ポーツ施設の整備による交流人口の拡大、定住促進などを重点化し、積極的に事業を推進していくこととしております。また、事業をより効果的・効率的に推進するため、まちづくりの基軸となるDMO（観光地域づくり組織）を創設し商工観光・農業・水産業等を複合的に組み合わせることで事業者等の連携を深め、地域活性化を推進してまいりたいと考えます。

予算編成の概要

本町の平成28年度の一般会計予算の編成は、ごみ焼却施設整備事業や多目的運動広場整備事業などを重点に、対前年度比7・89%増の46億7千329万2千円となりました。

また、特別会計については、国民健康保険（事業勘定）事業、と畜場、介護保険事業、農業集落排水事業、後期高齢者医療などの合計で、対前年度比7・14%増の16億8千15万円となっております。加えて、企業会計の水道事業会計（事業費用ベース）については、対前年度比1・78%減の1億8千775万円となっております。これらの、一般会計、特別会

計、水道事業会計を合わせた予算総額は65億4243万5千円で前年度に比べて5・48%の増となっております。

歳入歳出予算の概要

次に、一般会計を中心に、歳入歳出予算の概要についてご説明を申し上げます。

1 主な歳入予算について

まず、一般会計歳入予算のうち、基幹的収入である町税は3億1千661万7千円で対前年度比、約177万9千円、0・6%の増、地方交付税は、19億5千200万円で前年度より29万2千円の減額で計上しております。

国庫支出金につきましては、6億6千731万4千円で前年度より1千643万9千円の減額、県支出金は3億6千821万8千円と前年度より8千597万8千円の増額となっております。

町債の総額は10億2千290万円となり、うち臨時財政対策債が1億1千300万円、辺地債が1億7千200万円、過疎債が7億2千840万円などとなっております。

なお、予算編成の過程で生じた財源不足については、財政調整基金から4千992万5千円を繰入して対応することとしております。

2 歳出予算における 主な事業等について

次に、一般会計歳出予算のうち、主要な施策・事業についてご説明を申し上げます。

まず、総務費の新規事業として地域おこし協力隊活動事業費605万9千円、民生費の臨時福祉給付事業費2千864万円、衛生費ではごみ焼却施設整備費7億3千705万9千円、農林水産業費においては茶花漁港水産生産基盤整備等の漁港管理費1億1千896万1千円、基盤整備促進事業費1億7千373万円、教育費では多目的運動広場整備事業1億8千450万8千円などを計上しております。なお、町債の元利償還に係る公債費につきましては対前年度比でマイナス6.7%、3千786万1千円減の5億3千178万1千円となっております。

分野ごとの具体的

施策・事業等

(二部抜粋)

商工観光業の振興について

商工観光業については、百合ヶ浜等ヨロン島の海の魅力に関する特集を中心に、全国ネットのテレビ局や海外の旅行雑誌に取り上げられたこともあり、平成20年以來7年ぶりに入込客数が6万人を超え、町内においては商工業者を中心に活況を呈しました。

また、国の施策においては奄振事業による与論―那覇間の船舶運賃及び航空運賃の軽減事業の拡充など、交流人口の増加に寄与する流れになっております。28年度は、これらヨロン島への来訪機運の高まりを追い風に更なる入込客を目指し、与論町総合戦略及び第5次総合振興計画との整合性を図りながら以下の施策を進めてまいります。

商工業の振興

27年度に引き続き、旅行者向け商品券事業の継続実施により町内の消費喚起を促し、商工業の活性

化を図ってまいります。併せて平成24年、25年の台風災害対策への利子補給補助事業等セーフティネット施策についても継続して進めてまいります。

ヨロンパナウル王国

観光振興事業の実施

来訪機運の高まりや、町内の活気が出始め希望が見えてきたことで総合的な島づくりを推進する組織の設立や町民が主体となった地域経済の活性化など自主的かつ継続的な取り組みをこれからの課題として捉え、これらの解決のために以下の取り組みを実施してまいります。

- ① 与論町まちづくりDMOの設立への取り組み
(島内外の多種多様な人材を活用し、観光振興による島づくりをすすめる組織(DMO)の設立に向けた設立準備委員会の設置)
- ② 沖繩北部との連携

(国頭村など沖繩北部地域との連携によるスポーツイベントや、旅行商品券付きモニターツアー等の実施により、テレビ・ラジオ等のメディアを活用した交流人口の拡大を図る)

受入態勢の充実

ヨロン島が魅力ある観光地として持続可能な受入態勢の充実を図ってまいります。

- ① 貴重な自然や文化を観光資源として活用するための景観美化の推進及び体験メニューの充実や新たな旅行商品の企画開発
- ② 民泊受入等着地型観光の受入態勢の推進

DMO組織設立を見据えた

地元推進体制の充実

与論町まちづくりDMO設置に向けて既存の取り組み等の見直しも含め、継続可能な自立型組織の体制づくりを進めてまいります。

- ① 将来のヨロン島観光を担う人材の育成・ガイドの養成
- ② 関係機関及び各種団体等の役割分担の明確化や連携体制の強化
- ③ 文化交流やスポーツ活動等を通して女性が活躍できる地域づくりの推進

④ 観光ルネサンス事業の具現化と、ヨロン島の最高の観光資源である「自然」と「人」を活かした観光「ゆんぬツーリズム」の推進

◆総務企画課 川田 美知瑠さん



このたび総務企画課に配属になりました川田美知瑠と申します。与論島を出て、誠の心や人の温かさ、文化の良さを改めて感じるとともに、自慢できる故郷だと思いました。小さいころから地域の方々に育てて頂いたので、今度は与論町の皆様にお返しができるばと思っております。

今は何もかもが初めてで毎日先輩方にお世話になってばかりですが、一日も早く仕事を任せられる人材になりたいです。

まだまだ微力ではありますが、これからも皆様が笑顔で過ごせるよう頑張っております。今度ともご指導とご鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。

◆建設課 清水 領二さん



このたびで建設課に配属になりました清水領二と申します。これまで、神奈川県にて自動車整備士として働いていましたが、十一年ぶりに故郷である与論に帰ってきました。久しぶりの島での生活によく慣れてきたところです。

仕事の方は、今のところ、上司、先輩達に質問することが自分の仕事の状態ではありますが、少しずつ覚え皆様の役に立てる様になりたいと思っております。

仕事と同時に皆様の顔と名前を覚えるのを頑張っておりますので、たくさん聞き歩いていたいと思いますが、何処かで見かけたらその時は、よろしくお願ひ致します。

◆建設課 裾分 望嗣さん



このたび建設課に配属になった裾分と申します。役場に入り一か月が過ぎやっと職場にも慣れ、先輩達に助言等ももらい頑張っております。又、今まで受注する側だったのでが発注する側になりとまどっています。が、民間企業で二十五年間培ったノウハウを十分に活かして、今後与論町の建設業の技術力アップに多少なりともお役に立てるよう頑張りたいと思っております。



◆茶花こども園 橋口 綾乃さん



茶花こども園で働かせていただき、1か月が過ぎました。仕事には少しずつ慣れてきました。が、まだまだ余裕がなく、先生方に勉強させていただいている毎日です。

毎朝、笑顔で「おはよう」と挨拶をしてくれ、元気に走りまわる子ども達から、いつもパワーをもらい、負けないように頑張っています。

この大好きな与論で、幼い頃からの夢であった保育士として働くことができ、とても幸せを感じています。

本当に至らないことばかりですが、これからも日々精進していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

◆町民福祉課 町 聡志さん



地域行政の現場に携わるようになり、早くもひと月余りが経過したところですが、未だ右往左往するばかりで自分の至らなさを痛感する日々が続いています。同時に、故郷の生活の中で感じる自然の豊かさや地域の皆様方からの温かいお声掛けやお心遣いに触れ、改めてユンヌに生まれ育ったことの有難さを感じています。

このユンヌの島の自然や地域社会を、持続可能かつ豊かで心地よいものとして次世代に繋いでいけるよう、職場の先輩諸氏の方々や地域の皆様のお助けを頂きつつ、微力ながら精進していきたいと思っています。

今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。

◆与論こども園 町島 元妹さん



このたび、与論こども園で勤務させていただくことになりました町島元妹です。

子どもたちと一緒に過ごす時間や青年団活動を通して、環境・文化・言語・人のあたたかさなどに当たり前にあるものの美しさを改めて感じました。

子どもたちが成長し、帰ってきたいと思えるよう、島の当たり前をいつまでも残し、与論でしかできないたくさん経験をして心の土台を育てていける保育づくりをしていきたいです。

ユンヌ又 ワラビンチャートウ マージン ミジラシク 勉強シチ イカンチュティ ムーユイ ウップーサ ハタテイタバーリ。ニゲーシャーピラン。

◆産業振興課 山下 康平さん



役場に入り、あっという間に1か月が経過しました。まだまだ分からない事ばかりではありますが、少しずつ職場にも慣れてきた様に思います。仕事に関しては、何のお役にも立てていませんが、少しずつ仕事を覚え、町民の皆様のお力に少しでもなれるよう勉強していきます。また、今後力を入れていきたい事があります。それは与論の方言を覚えることです。恥ずかしながら、この歳になりようやく与論の方言の素晴らしさ、重要性に気付きました。将来的には、若い世代の方々にも方言が浸透し、方言を使ってあらゆる世代の方々とコミュニケーションの取れる、文化的で融和的な環境にして行きたいです。

◆教育委員会 山本 真由美さん



このたび、教育委員会・学務課配属を拝命しました山本真由美と申します。

今年の三月まで臨時職員として、町立小中学校のパソコンやネットワーク管理のサポートをはじめ、町立図書館で勤務させて頂いておりましたが、臨時職員の時とは業務内容が異なり、分からないことばかりで、あっという間にひと月余りが過ぎました。

先輩方にたくさん教えて頂きながら仕事を覚える毎日ではありますが、一日でも早く仕事に慣れて皆様のお役に立てるように努めてまいります。

どうぞご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

与論町地域おこし協力隊

町では、人口減少、少子高齢化が課題であり、U・I・O・ターン者、交流人口を増やす取り組みが必要となっております。そのためには、町外の人材を積極的に受け入れ、その定住・定着の促進が重要です。

そこで与論町では、意欲のある町外の人材を積極的に受け入れ、地域住民と協力しながら、本町の活性化につながる新たな展開を期待し、与論町地域おこし協力隊を設置しました。

〈活動内容〉

- ・ コミュニティ活動の運営と活性化に関する支援
- ・ 地域の情報発信に関する支援
- ・ 地域のまちづくりに取り組む各団体の連携推進に関する支援
- ・ 地域資源の活用コーディネート支援
- ・ 農林水産業の振興に関する支援
- ・ 観光振興に関する支援
- ・ 移住交流事業の支援

〈地域おこし協力隊の紹介〉

■ 佐藤 伸幸さん



はじめまして、こんにちは。平成28年4月1日より与論町の地域おこし協力隊として就任しました。佐藤と申します。

昨年9月に新婚旅行で与論島を訪れ、この島の自然と人が好きになり、応募したのがキッカケです。将来的に家族で、この島に定住し、子育てしたいと考えています。前職では電子部品の会社で、海外工場の生産管理、法人営業、人事にて海外研修生の受け入れ業務を行ってきました。

得意の外国語の能力（中国語・英語）を活かして、外国人の旅行しやすい環境づくりや、海外に向けた情報発信を積極的に行っていきたいと思えます。

町で見かけたら、気軽に声を掛けてください。どうぞよろしくお願ひします。

■ 山岡 理恵子さん



4月11日に与論町地域おこし協力隊に就任しました。

4月10日までには神戸で高齢者関連の仕事をしていました。出身は静岡県牧之原市という海とお茶と晴れた日は富士山が見える小さな町で育ちました。

与論に来て間もないため、新しい暮らしは不安もありますが、以前泊まった宿やお店の方たち、役場の方、家の近くの商店の方や出会う人、皆に親切にして頂いて、島の人たちのあたたかさにホッとしています。まずは島を知ることからと思っていますので、町で会ったら私に島のことをいろいろ教えてください。よろしくお願ひします。

「ヨロン島 奄美群島の一番はじっこ」というタイトルでブログもしています。ぜひ見てください。

携帯電話版ホームページ

<http://kyuden.jp>

パソコン版ホームページ

<http://www.kyuden.co.jp>

■ 携帯メールサービス

台風による停電時に、ご登録いただいた携帯電話に停電情報をメールで配信いたします。詳しくは、上記ホームページをご覧ください。

九州電力からの
お知らせ



九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。

台風時の停電情報をチェック！
台風による停電時には、電話がつながりにくくなることがあります。

台風等非常災害時の停電情報は左記のホームページでもご確認いただけます。

◆ サトイモ選果機落成式

3月8日(火)JAあまみ与論サトイモ選果場で、新型のサトイモ選果機の落成式が行われました。

サトイモ(石川サトイモ)は与論町の輸送野菜の主要品目ですが、旧式の選果機と手作業による選果では、異なる等級のサトイモの混入や、イモの皮向けによる品質の低下が問題となっていました。しかし、新型の選果機の導入によって、サトイモの品質向上や、栽培面積の拡大による収穫量の増加が期待されています。



◆ 与論小漁協見学

3月9日(水)与論小学校の4年生の児童が与論町漁協を見学しました。

朝7時30分からセリ市を見学し、児童たちは初めて見るセリに興奮した様子でした。その後は、漁協の壁に茶花港で水揚げされるシビ(キハダマグロ)やシーラなどの絵を書き、与論町の漁業について学ぶ機会となりました。



◆ 雪村いづみトーク&ショー

3月20日(日)砂美地来館で雪村いづみトーク&ショーが開催されました。

力強い歌声で観客を魅了し、シヨ一の前には雪村さんの主演映画「そうかもしれない」の上映会も行われました。映画の製作に携わった映画プロデューサーの新田博邦さんや、新田さんが製作した映画で主演を務めた女優の土屋貴子さんもシヨ一に出演し、軽快なトークで会場を盛り上げました。



◆ 美ら島プロジェクト365 活動報告会

3月24日(木)中央公民館で美ら島プロジェクト365活動報告会が行われました。

代表の池田龍介さん(古里)が2年間にわたる海岸清掃活動の成果を、海岸ごとのゴミの量など具体的な数値も交えて報告しました。

その後、『与論島を「美ら島」にするアイデア』などのテーマで、参加者がグループディスカッションを行いました。



◆ 銀座通り感謝祭

5月4・5日の両日に渡って開催された茶花銀座通り感謝祭は、大勢の町民や観光客でにぎわいました。

イベントは初日ゆんぬエイサーのオープニングで始まるとバンド演奏やダンス、大綱引き大会などが行われました。

沿道には屋台や島の特産品、金魚すくいなどの出店が並びイベントを盛り上げました。



◆ 地域リーダーと語る会



鹿児島県知事
伊藤 祐一郎

5月9日(月)福祉センターで「地域リーダーと語る会」が開催されました。

語る会では、伊藤知事自らが進行役を務め、県議会議員の禧久氏、林氏が同席する中、島内において様々な分野で活躍している19名が参加し、意見交換しました。



参加者からは、様々な意見や要望が出されました。

- ① 統合型地域スポーツクラブの活動を通じたスポーツ振興と健康づくりによる地域貢献
- ② 商業施設・宿泊施設等の改修・改築等に対する助成
- ③ 小規模事業者持続化補助金の申請促進、鹿児島く議論の生活物資の運賃問題
- ④ 地域女性団体の取組・課題

伊藤知事はそれぞれの質問に対して、丁寧に回答しました。

本町での知事対談は、平成23年に伊藤知事が行って以来、5年ぶりの開催となりました。

語る会の詳細は鹿児島県ホームページに掲載予定です。

<http://www.pref.kagoshima.jp/chiji/katarokai/>



◆ 特別支援教育保護者会

5月15日(日)福祉センターで特別支援教育保護者会の総会が開催され、「障がいのある子もいない子も共に育つ教育」をテーマに研修会が行われました。

県内で最初に与論高校で行われていた大島養護学校の訪問教育について、柳原先生がご尽力されていたことや近隣の離島に同じような取り組みが広がりにつつあることが、紹介されました。また、障がいのある子供たちを持つ保護者の不安や切実な願いを訴える意見が聞かれました。



保健センターからのお知らせ

①保健センターで取り扱っている母子保健サービスについて

- ◆妊婦健診にかかる費用の助成（健診料、島外の場合の旅費・宿泊費等）
 - ◆島外出産にかかる費用の助成（島外での出産待機する場合の旅費・宿泊費等）
 - ◆妊婦歯科検診（無料）
 - ◆乳幼児健診（一般健診は無料、精密検査は一部助成）
 - ◆未熟児養育医療費助成
 - ◆特定不妊治療にかかる交通費・宿泊費の助成
- ・特定不妊治療費に関しては徳之島保健所へご相談下さい。（治療費の助成が拡大されました）
- ※詳細は保健センターにお問い合わせください。

与論町保健センター 97-5105 母子担当：佐藤

②8020達成者の方、いらっしゃいませんか？

あなたのまわりに8020（80歳で20本以上自分の歯がある）を達成された方はいらっしゃいませんか？20本以上の歯があれば、ほぼすべての食品を食べることができるといわれています。「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めて8020運動が始まりました。

与論町では8020を達成し、元気にお過ごしの方を募集しています。自薦・他薦は問いません。奮ってご応募ください

- ◆対象者：平成28年7月31日時点において、80歳以上で、20本以上
ご自分の歯がある与論町在住の方（今までに表彰を受けた方を除く）
- ◆応募先：与論町保健センター 97-5105 歯科担当：白石
- ◆締め切り：平成28年7月15日まで



奄美海上保安部からのお知らせ

6月21日（火）から30日（木）まで「台風海難防止強調運動」を実施しています。

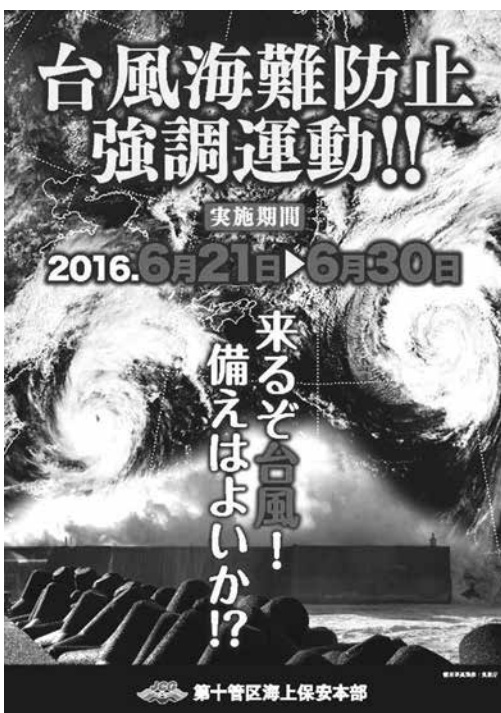
台風来襲時を迎えるにあたり、海難の未然防止を図る、「来るぞ台風！備えはよいか！」をスローガンに「台風海難防止強調運動」を実施します。

事前調査や適切な避泊場所の選定など早めの対応を心掛け万全の体制を整えましょう。

注意・準備事項

- ★ 台風情報の早期把握及び継続的な情報収集
- ★ 早期避難及び保船対策の励行
- ★ 適切な避難場所の選定及び事前調査
- ★ 海上保安庁緊急情報メール配信サービスの活用

海上保安庁緊急メール配信サービス
regist@ap.mics.kaiho.mlit.go.jp



与論の食育だより

～食材紹介～

ゴーヤ（ニガウリ）

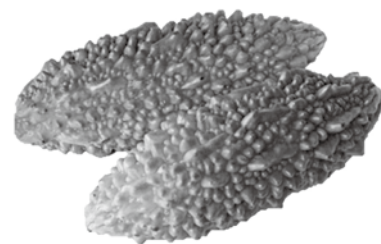
和名「つるれいし」「苦瓜」ともいい、熱帯アジアが原産。

沖縄本島ではゴーヤ（ゴーヤー）と呼ぶのが一般的で、沖縄料理ブームの影響もあり全国的にもゴーヤという呼称が定着しています。

ゴーヤにはビタミンCをはじめミネラルが多く含まれていて、夏バテ予防や食欲増進に効果があることが知られています。さらに、苦み成分（モルデシン・チャランチン）に血糖値を下げる効果があることがわかってきました。

与論町では温暖な気候を生かし、本土産の出荷が少なくなる秋から春にかけて年間80 tほどが生産されています。

（平成27年度 与論町農水産業の概要）



～レシピ紹介～

ゴーヤの佃煮

【材料（作りやすい分量）】

ゴーヤ2kg
	（中10～12本位）
砂糖400g
濃口しょうゆ200cc
みりん200cc
酢200cc
かつお節（細削り）	.. 40g
炒りごま（白）適宜

【作り方】

- ①ゴーヤはへたを取って縦半分になり、種とワタをスプーンで取り除き3cm幅に切る。
- ②鍋に①のゴーヤと調味料（砂糖・濃口しょうゆ・みりん・酢）を入れ火にかける（強火）
- ③途中何度か混ぜながら煮詰め、汁気が少し残った状態になったら、かつお節と炒りごまを入れて混ぜ火を止める。



～ゴーヤは冷凍して保存できます～

①へたを取って縦半分になり、種とワタをスプーンで取り除き調理時使いやすい幅に切る。

②冷凍保存用のジッパー袋に入れ、なるべく空気を抜いて冷凍庫へ。

※使うときは凍ったままで大丈夫です。

※保存期間は1～2か月です。霜がつかないように水分はしっかり拭き取ってください。

【問い合わせ先】

与論町食育推進計画作業部会事務局
町産業振興課 担当：田畑

戸籍の窓

平成28年
3月～5月

※婚姻、出生、死亡とも掲載許諾を頂いた方のみ掲載しています。(敬称略)

お誕生おめでとうございます

(氏名・保護者・集落)

3月届出分

谷山	莉乃	靖拓	那間
池田	陽夢	太樹	茶花
沖野	桃菜	武詩	茶花
本園	愛佳	秀幸	古里

4月届出分

岡田	麗獅	竹司	茶花
福地	朝飛	大輔	城
喜山	心月	浩二	茶花
平田	蓮人	裕之	茶花

5月届出分

白山	そら	浩也	西区
----	----	----	----



ご冥福をお祈りします

(氏名・保護者・集落)

3月届出分

山口	ハル	88歳	茶花
坂本	シズエ	88歳	叶
基	キク	82歳	那間
朝岡	勝雄	86歳	那間
河原	亨	86歳	西区

4月届出分

久田	當吉	88歳	那間
池田	忠重	89歳	茶花
林	壽雄	86歳	那間
港	征晃	27歳	立長
大田	哲子	69歳	朝戸
富永	ウメ	92歳	西区

5月届出分

永井	節子	72歳	東区
町	キク	96歳	茶花
中村	三千代	64歳	立長
吉川	森吉	88歳	茶花
森	マサ	91歳	城
林	直次	85歳	立長
徳田	キク	98歳	朝戸
原田	光啓	87歳	叶

いつまでもお幸せに

(氏名・地区)

3月届出分

重山	哲洋	名瀬
西	愛里	城
市未	大幸	朝戸
豊泉	絵梨	埼玉県

4月届出分

内野	優三郎	西区
松岡	綾香	奄美市
竹井	茂雄	東区
石川	めぐみ	茶花
喜島	啓	茶花
佐藤	唯	茶花

5月届出分

原田	隆太郎	茶花
中村	美穂	福岡県
沖	道成	朝戸
田近	朱理	京都府

表紙

第26回やんばる駅伝競走 与論島大会

5月28日(土)、青空の下第26回やんばる駅伝競走与論大会が開催され17チームが町内を駆け抜けました。

【結果】

- 1位 名護市南
- 2位 本部町
- 3位 宜野座村
- 4位 与論町

ひとの動き (平成28年5月末現在)
 5,357人 (男:2,594人 女:2,763人)
 世帯数 2,551 世帯
 28年5月分 転入:12人 転出:11人
 出生:1人 死亡:11人



広報

よろん

2016 VOL.306



祝入学おめでとう



茶花小学校



与論小学校



那間小学校



与論中学校

町立3小学校には、与論小24名、茶花小26名、那間小13名、合計63名の1年生が入学しました。

また、与論中学校には46名、県立与論高等学校には35名の生徒が入学しました。



与論高校

